

第201号

令和5年1月15日発行

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会

発行人

積田優

編集人

広報委員会

(委員長 矢嶋博和)

事務局

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
http://www.saidenkyo.jp/ E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

TEL 048(864)0385

編集

日本工業経済新聞社(埼玉建設新聞)

さいのかがやき
彩の耀

一般社団法人 埼玉県電業協会

耀け埼玉埼電協!

～2030年に向けて持続可能な開発目標～



アクティブに活動推し進める



積田会長

令和5年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より(一社)埼玉県電業協会の活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大の兆しが冬季に少し増えたものの、インバウンドが解禁されるなど国内経済も僅かながら明るい兆しが出始め、協会の活動もお陰様で大方、予定通り行うことができました。

しかし、多国間での軍事侵攻等による世界情勢の変化、原油や資材の高騰や不足、急速な円安の悪影響など、取り巻く環境は大変厳しくなっています。そうした中での目下最大の懸案は、技術者・技能者の高齢化や若年入職者の減少に伴う担い手不足です。産業を支える人材の確保、そして、そのために必要な「働き方改革」の強力な推進が不可欠となります。労働基準法改正に伴う労働時間の上限規制の適用まであと1年と迫っておりますが、変形労働時間制が採用されているケースも多く、完全週休二

日制の浸透はなかなか進んでいないのが現状です。発注機関の皆様には新担い手三法改正による工期の適正化・施工時期の平準化などに対応いただいておりますが、私たちも会員企業の経営努力はもとより協会員一同が力を合わせ、この局面を打開し、働きやすく・魅力のある業界にしていきたいと考えております。

他方、電設業界にとって明るい話題としては、脱炭素社会の実現を目指す再生可能エネルギーの活用や省エネルギー対策・デジタル化のより一層の進展があげられます。これらはさらなる経済の好循環を生むとともに、私たちにとって大きなビジネスチャンスでもあり、果たすべき役割と責任はかなり大きいと認識しております。このような社会的要請を踏まえ、今後とも良質な電気設備の供給、整備、保全が適切かつ継続的に行われるよう、より一層の技術力向上を図って参る所存です。

また、本年度の協会方針を「電設業界を発展・進化させ、常に県民が安心・安全に暮らせるインフラ設備を提供することで社会に貢献することを目指す」としました。それらを達成すべく協会の運営・諸事業に関しては、DX(デジタルトランスフォーメーション)を活用するなどし、効率化を進めながらもアクティブに活動を推し進め、県民の皆様、発注者様の信頼に依って行く所存です。本年も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

結びに、皆様のますますのご活躍を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

埼玉県優秀建設工事表彰

埼玉県では発注した建設工事を優秀な成績で完成させた企業、現場代理人などを他の模範として毎年表彰しています。

令和4年度に表彰された設備部門のうち、当協会の会員が受賞した工事は次のとおりです。〈敬称略〉

令和4年度優秀建設工事施工者表彰

〇知事表彰(特別奨励)	(株)躍進電気	30県住熊谷玉井団地第2工区電気設備工事
-------------	---------	----------------------

令和4年度県土づくり優秀建設工事施工者表彰(課所長表彰)

〇設備課長表彰	(株)丸電	21川口特別支援学校小学部棟空調ほか電気設備改修(1期)工事
〇設備課長表彰	(株)佐久間電設	総選除)21SKI PシティA1棟電気設備改修工事
〇営繕・公園事務所長表彰	(株)東電工業社	21熊谷スポーツ文化公園くまがやドーム音響設備改修工事

令和4年度県土づくり優秀現場代理人等表彰(課所長表彰)

〇設備課長表彰	矢嶋美智雄(株)躍進電気	30県住熊谷玉井団地第2工区電気設備工事
〇設備課長表彰	石井輝(株)丸電	21川口特別支援学校小学部棟空調ほか電気設備改修(1期)工事
〇営繕・公園事務所長表彰	武藤和重(株)東電工業社	21熊谷スポーツ文化公園くまがやドーム音響設備改修工事
〇荒川左岸北部下水道事務所長表彰	山本修平(島村電業(株))	古利根流域処理場3系水処理反応タンク水質計器設置工事



知事表彰を受賞した躍進電気の矢嶋社長㊦

「未来への確かな布石」



埼玉県知事 大野 元裕

明けましておめでとうございます。

一般社団法人埼玉県電業協会会員の皆様には、健やかに令和5年の新春をお迎えのこと

とお喜び申し上げます。

昨年はコロナが猛威を振るい、かつてない規模の陽性者数を記録するなど大変厳しい状況でした。これに対し「重症者・死亡者」を減らすことを第一に対処してきました。

最前線で奮闘された医療関係者の皆様をはじめとするエッセンシャルワーカーの皆様、その他感染症対策に取り組まれた全ての皆様に対し、改めて心から感謝申し上げます。

また、昨年はエネルギー価格・物価高騰が進み、県民・事業者の皆様が厳しい状況に置かれました。これに対し、国や県内の経済界・産業界・労働界と連携し、県の取組を策定の上、速やかに補正予算に反映させたほか、産・官・金・労による「価格転嫁の円滑化に関する協定」を全国で初めて締結し、「価格転嫁の気運醸成キャンペーン」を実施するなど機動的な対応を行いました。

災害に対しては、平時から危機を想定して常に気を引き締め備え、昨年発生した降ひょう、豪雨、土砂災害などの災害には、迅速的確に対応しました。

こうした危機に対応しつつ、私が知事に就任して初めての5か年計画を新たに策定し、4月にスタートさせました。

この計画が目指す、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向け、様々な施策が動き出しています。

未来を見据えた「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」の取組も具体化してきました。

近年は、変化が激しく予測が難しい時代と言われており、自ら課題を発見する力、従来の発想に捉われず解決策を考え、速やかに実行する力が求められ

ています。そのためには、従来の働き方や仕事への取り組み方の「変革」が必要です。

本県が推進しているデジタルトランスフォーメーション（DX）は、社会全体の変革を目指すものです。DXは単なる効率化ではありません。デジタル技術による省力化で生み出された時間を、フェイストゥフェイスで丁寧に対応すべき仕事、人間にしかできない創造的な仕事、市町村や企業など多様なステークホルダーと対話をしながらアイデアを膨らませていく共創的な仕事へシフトさせていくことが肝心です。

人口減少下にあっても、社会全体の生産性向上により、持続的に発展していく社会を構築したいと私は考えます。

そして、今年こそポストコロナ元年とし、未来を見据えた大きな変革の年にしなければならないと考えています。

まずは目下の危機への対応として、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に最優先で取り組み、暮らしの安心・安全を確保するとともに、長期化するエネルギー価格・物価高騰に対応し、経済を一日も早く回復させてまいります。

その上で、新しい時代に向けた未来への確かな布石として、人材育成としての「人」、強い埼玉県経済に不可欠な「企業」、この人や企業が根付いている「地域」、これらの「人・企業・地域」三位一体で持続可能な成長ができる施策を推進してまいります。

また、5か年計画の2年目を迎える本年「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向け、子供をはじめ高齢者、障害者、女性、LGBTQなど、誰もが社会に参画し、お互いを尊重し、共に生きる社会をつくる取組や、災害や脅威から県民を守る取組を加速させてまいります。

今年の干支「卯（うさぎ）」は「飛躍」、「向上」を象徴するものです。今年が埼玉県にとって飛躍と向上の年となるよう、皆様とともに「ワンチーム埼玉」で県政に取り組んでまいります。

省エネ・新エネがテーマ

第2回技術講習会



牧講師

昨年11月9日、埼玉建産連研修センターで第2回技術講習会を開きました。約50人が出席し、省エネルギーと新エネルギーに関する最新動向を学びました。

積田会長は冒頭、ロシアによるウクライナ侵攻を起因とした原油高などを踏まえ、将来へのエネルギーの安定供給を懸念し、また日本のエネルギー自給率の低さにも言及。「エネルギー自給率の向上、輸入先の確保、備蓄の拡大といったことが急務ですが、これらとともに大切なのが、使用するエネルギー源の多様化と省エネ対策。われわれ協会員にとっても大きなビジネスチャンスとなり得るので、最後まで聞いてください」と呼び掛けました。

講師には、上部団体の日本電設工業協会から関東工北関東・北信越営業本部の牧一夫部長を招き「省エネルギー・新エネルギー関連の最新動向」をテーマに講義を行いました。牧部長は新エネルギーの動

向として、福島県内で進む「福島新エネ社会構想」に触れ、柳津西山地熱発電所や福島浮体式洋上ウィンドファームといった発電施設のほか、再生可能エネルギーと水素エネルギーを地域で効果的に利用するスマートコミュニティへの取り組みを説明しました。

省エネ関連ではZEBとZEHの普及促進に向け、国の支援事業や補助金を紹介。また、企業や自治体が所有する施設の屋根や遊休地を事業者が借りて無償で発電施設を設置し、そこで発電した電気を施設内で使用して電気料金と二酸化炭素排出削減を図るPPAモデルも解説しました。



約50人が出席

第4回企業対策セミナー

外国人材確保の術学ぶ



田口講師

昨年11月22日、本年度第4回企業対策セミナーをさいたま市内で開催しました。23人が出席し、外国人就労者の採用と活用について理解を深めました。

冒頭、積田会長が各企業が抱える経営課題の1つに人材の確保と育成を挙げ、その解決策として外国人雇用の必要性を強調しました。

講演は2部構成で、第1部は「外国人理系高度人材の採用について」をテーマに、留学生の就職や生活支援を行うNAP代表理事の田口芳弘氏が講義を

行いました。田口氏は日本の人材不足をミャンマーの高度人材で補うことを提案。「ミャンマーには真面目で優秀な人が多いです」と述べ、他業界に先駆け、ミャンマーからの採用を強く促しました。第2部では、ミャンマーから八洲電業社に就職した2人の社員が就労の場として日本を選んだ理由や現在の仕事内容、日常生活で苦労している点などを披露しました。



八洲電業社で働くミャンマー出身の2人

課題解決へ情報共有

県設備課と意見交換



積田会長

昨年10月18日、埼玉教育会館で県設備課との意見交換に臨み、予定価格の設定や物価スライド、現場配置技術者に関する議題について、県側と議論を交わしました。

積田会長は働き方改革への対応、担い手不足、資材の高騰・不足など混沌としている現況を踏まえつつ「今日は要望ではなく意見交換会です。ご無理な内容もあるかもしれませんが、ぜひご教示いただければと思います」とあいさつしました。これを受け、県設備課の大澤春樹課長は「建物の長寿命化対策などにより、今後も多くの改修工事の発注を予定しています。このような状況の中で多

くの工事を進めていくためには、皆さまのご協力が欠かせません」と返答しました。

その後、当協会と県それぞれの要請事項に沿って意見交換が進み、互いの立場を超えて情報を共有しました。



大澤課長



議題に沿って討議を重ねた

第2回県営住宅電気設備等保守点検説明会

50人が出席



加藤課長

昨年12月7日、埼玉建産連研修センターで令和4年度第2回県営住宅消防・電気設備等保守点検業務実施説明会を開きました。2月からの実施を前に点検にあたっての注意点を確認したほか、点検結果報告書の作成や提出方法などを再確認しました。

あいさつに立った埼玉県住宅供給公社公営住宅技術課の加藤正男課長は「皆さま方には、日ごろより県営住宅の維持管理や修繕、点検業務に対して迅速な対応を頂いており、それが入居者の安心安全の拠り所となっております。今後も引き続き、皆さんから高い技術力と点検ノウハウを頂きながら、県営住宅の快適な環境づくりに努めてまいります。

す。本日はよろしくお願いします」と述べました。

その後、当協会の荒川清江専務理事が保守点検業務の実施にあたっての留意点や点検時のチェック項目などを詳細に説明しました。他方、住宅供給公社からは業務全般にかかる諸注意を確認し、また昨年12月から導入した電子入札について、入札参加希望者へ利用者登録を要請しました。



保守点検業務の留意点を確認

受験準備講習会



2級電気通信工事施工管理技士取得へ

昨年10月4日、11日、17日の3日間、2級電気通信工事施工管理技術検定試験の受験準備講習会を埼玉建産連研修センターで開催しました。SEEDO代表の関根康明氏と前田義文氏が講師を務め、出席した7人は資格取得に向け、熱心に聴講しました。

初日は試験概要や電気理論をはじめとする基礎を学び、2日目は電気通信工事に関連する機械設備、土木・建築の分野に触れたほか、関係法規の解説を受けました。3日目は第2次検定対策として、施工経験記述の解答法をマスターしました。



実践力を養った講義

目指せ!2級電気工事施工管理技士

2級電気工事施工管理技術検定試験の受験準備講習会を埼玉建産連研修センターで開き、ケイ・教育企画サポート事務所主宰の小泉一夫氏が講師を務めました。

講義は昨年10月7日、14日、21日、31日、11月4日の5日間行われ、出席した6人は、昨年度より新制度へ移行した試験概要や効果的な学習方法について学び、その後も電気工学や電気設備、施工管理、法規の出題に備えた対策、さらには過去問などで実践力を養いました。



講義のようす

1級電気通信工事施工管理技士 第二次検定へ備え万全

1級電気通信工事施工管理技士の第二次検定試験突破を目指し、昨年10月26日と27日の2日間、埼玉建産連研修センターで受験準備講習会を開催しました。SEEDOの前田義文氏が講師を務め、3人が受講しました。

講義はテキストを使用し▽試験概要▽施工経験記述▽電気通信工事の施工▽アローネットワーク工程表▽労働災害の防止▽電気通信の用語▽法規——の各項目に沿って講義を行い、参加者はペンを走らせるなどして熱心に耳を傾けていました。



熱心に講義する前田氏

第一種電気工事士の資格取得目指す 技能試験突破へ

昨年11月11日、18日、25日、12月2日、8日の5日間、埼玉建産連研修センターで第一種電気工事士試験（技能）の受験準備講習会を開きました。ケイ・教育企画サポート事務所主宰の小泉一夫氏ら3人が講師を務め、21人が出席しました。基本実技の訓練や公表問題の実習などを重ね、全員合格を目指しました。

技能試験は持参した作業用工具と支給された材料を使用して、配線図で与えられた問題を一定時間内に完成させます。電線やケーブルの剥ぎ取り、差し込みコネクタによる電線接続、電線の輪づくりといった基本的な実技訓練のほか、講師から手ほどきを受けながら、公表問題にある各工程を1つ1つクリアしました。



課題に没頭する受講者

わが故郷 北本市の魅力

Voice

深井電気株式会社 深井 正美

今回は地元、北本市をご紹介します。皆さん、北本市って知ってますか???

緑に囲まれた健康な文化都市、埼玉県のほぼ中央に位置している北本市は人口約6万5千人の小さな市です。南北に国道17号、東西に圏央道と交通便が良く、JR高崎線では東京、品川、新宿、渋谷と直通。意外に便利な北本市なんです。

皆さん、ぜひ通り過ぎずに寄り道して下さいませ(笑)

市の木は桜ですが、これは日本5大桜の銘木、樹齢800年の蒲ザクラが生息しているからだと思ひます。花を咲かせた蒲ザクラ、ぜひとも桜の季節に北本市へお越しください。市の鳥はカワセミ、市の昆虫はヘイケボタル。こちらは自然豊かな荒川近くの自然観察公園付近にて観賞できます。自然観察公園には、遠く県外からも年間を通じて自然観察に訪れる人がたくさんいます。ぜひこちらにもお立ちより下さいませ。

自然観察をした後・・・お腹が空いたらもちろん「北本トマトカレー」です！全国カレーフェスティバルで2度優勝したカレー。まだ食べたこと

が無い人はいないかと思いますが？まだの人は今すぐ北本へ!!

それと、北本市の自慢の1つが災害や被害も無いところ。首都圏184都市の災害に強い街、総合ランキング第3位！ちなみに1位は所沢市、2位は和光市と、首都圏の中でナンバー3までが埼玉県なんです。

もうひとつ！埼玉県内ふるさと納税、ダントツの1位が北本市です。気になる返礼品は？皆さん調べてみてください。これは私も納税したいのですが、地元には出来ないんですよ～。

今回は北本市の魅力のほんの一部を紹介いたしました。気になりますか？皆さんのお越しをお待ちしております。ちなみに私は高崎線で唯一、両サイドが緑あふれる線路近くの「北本の軽井沢」に住んでおります(笑)



自然観察公園

課題解決へ連携強化 三県連絡会議開く

17

パートナーシップで
目標を達成しよう



昨年11月18日、神奈川県にあるローズホテル横浜で令和4年度三県連絡会議が開催され、当協会から積田会長らが出席しました。

開会にあたり、神奈川県電業協会の山口宏会長が「物価高騰をはじめ現況は厳しく、人材の確保育成など課題が山積しています。この場で情報を共有し、良い関係の中で前に進めていければと考えています」とあいさつしました。

意見交換で、当協会からは「物価スライド」と「人材確保」について他県協会へ質問しました。また、神奈川県電業協会からの脱炭素化社会に向けた電気工事に関する質問に対しては「埼玉県知事が九都県市首脳

会議の座長として、国に要望を提出しており、各種補助金が中小企業に提示されています」と回答しました。



今年度は神奈川県で開催された

高圧・特別高圧電気取扱者特別教育

活線作業上の留意点確認

4

夏の高い熱意を
みんなに



昨年11月21日と22日の2日間、埼玉建産連研修センターで高圧・特別高圧電気取扱者特別教育を開きました。ケイ・教育企画サポート事務所主宰の小泉一夫氏が講師を務め、活線作業上の留意点などを解説しました。

初日は高圧・特別高圧の安全作業用具に関する基礎知識を学習し、続く2日目は活線作業・活線近接作業の方法として器具や工具の取り扱い、停電回路に対する措置、開閉装置の操作などを確認したほか、救急措

置や事故発生事例を参考に災害防止の取り組みを学びました。また、開閉器の操作手順を学ぶ実技教育も行われ、理解度確認テストを経て、11人の受講者へ修了証を授与しました。



熱心に聴講する出席者

12月

1月

5日 仕事始め
16日 令和5年イノベーションセミナー
講演会・賀詞交歓会
24日 第4回企業対策委員会
25日 第2回広報委員会

26日 第4回 技術研究委員会
27日 第3回事故防止対策委員会
第5回人材育成委員会

2月

13日 第4回総務委員会
21日 第11回 理事会

第一種電気工事士試験(技能)受験準備講習会

11月11、18、25日・12月2、8日

支部長◎ 副支部長○

新生電気工事(株)(見沼区)
 (株)積田電業社(浦和区)
 ○中村電設工業(株)(岩槻区)
 (株)靛島電機(大宮区)
 (株)万代電気工業(桜区)
 (株)丸電(西区)
 瑞穂電設(株)(北区)
 ◎(株)八洲電業社(北区)

旭電気工業(株)(大宮区)
浦和電気工事(株)(南区)
○大塚電設(株)(浦和区)
(株)岡村電機(緑区)
埼玉田中電気(株)(南区)
埼玉電設(株)(中央区)
栄電業(株)(上尾市)

東部支部 (13社)

(株)内田電気商会(久喜市)
(株)大久保電気(越谷市)

倉持電気(株)(三郷市)
 (株)三進電気工事(上尾市)
 島村電業(株)(上尾市)
 ○(株)新電気(三郷市)
 (株)大広電気(八潮市)
 太洋電設工業(株)(越谷市)
 (株)高岡電気工業(松伏町)
 ニチデン技術サービス(株)
 (北本市)
 ◎深井電気(株)(北本市)
 富士電気工業(株)(北本市)
 (株)弓木電設社(白岡市)

西部支部 (18社)

○飯島電器工事(株)(川越市)
(株)市之瀬電設(志木市)
(株)大庭電気商会(川越市)
(株)岡島電気商会(川越市)
(株)おぎでん(川越市)
クマタ(株)(狭山市)
(株)三共電気商会(和光市)
(株)関根電気商会(川越市)
相馬電業(株)(和光市)
(株)電成社(川越市)
(株)中村電気(新座市)
◎橋電(株)(所沢市)
(株)橋本電工(所沢市)
フジヤ電気工事(株)(川越市)
(株)北産電設(所沢市)
○(株)まつもと電機(和光市)
(株)明電社(川越市)
(株)ヤマト・イズミテクノス
(ふじみ野市)

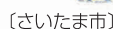
南部支部 (7社)

◎内山電設(株)(川口市)

(株)奥富電気工事(川口市)
(株)佐久間電設(川口市)
○佐野電機(株)(川口市)
三位電気(株)(川口市)
高山電設工業(株)(川口市)
那須電機工業(株)(川口市)

北部支部(15社)

イーテクノス(株)(熊谷市)
 ○(株)イトラスト埼玉
 (行田市)
 (株)内村電気(深谷市)
 (株)エコー(深谷市)
 共和電機(株)(秩父市)
 熊谷電機(株)(熊谷市)
 (株)栗原電機(深谷市)
 霜田電気(株)(皆野町)
 中外電気工業(株)(深谷市)
 (株)東電工業社(熊谷市)
 (株)長井電機(熊谷市)
 (株)沼尻電気工事(深谷市)
 (株)早川電工(鴻巣市)
 松山電設(株)(東松山市)
 ◎(株)躍進電気(深谷市)



11月14日の県民の日に合わせて、3年ぶりに県庁オープンデーが開催されました。当協会では電気設備業のPRとして「電気に親しもう!」をテーマに、太陽電池を搭載した昆虫型ロボット「メカホッパー」のエコ工作ブースを出展しました(=写真)。